

調査結果の概要

概況

1 2年目を迎えた「幼保連携型認定こども園」

園数、園児数ともに大阪府は全国最多

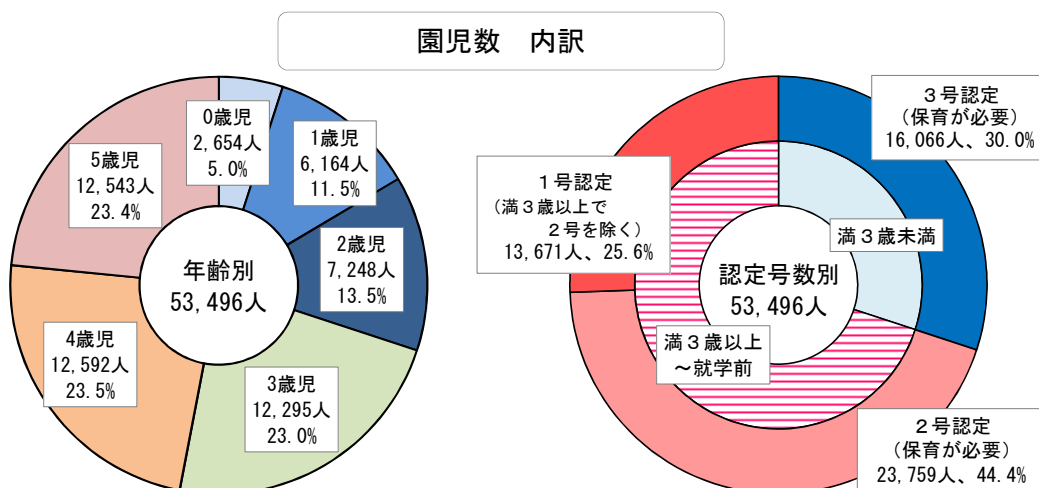
(1) 園数の全国比較

園数の全国合計 及び 上位5都道府県			幼稚園数の全国合計 及び 上位5都道府県			
都道府県	幼保連携型 認定こども園数		都道府県	幼稚園数		幼保連携 型認定こ ども園数
	平成 28年度	対前年度 増減数		平成 28年度	対前年度 増減数	
全国合計	2,822	879	全国合計	11,252	△422	2,822
大阪府	331	72	東京都	1,004	△6	21
兵庫県	264	92	大阪府	679	△14	331
青森県	158	37	神奈川県	676	△12	55
静岡県	134	24	兵庫県	578	△33	264
北海道	117	56	埼玉県	574	△16	45

- ・全国総数は2,822園で、1年で879園増加している
- ・大阪府は331園で、全国で最も多い園数となっている

(2) 園児数

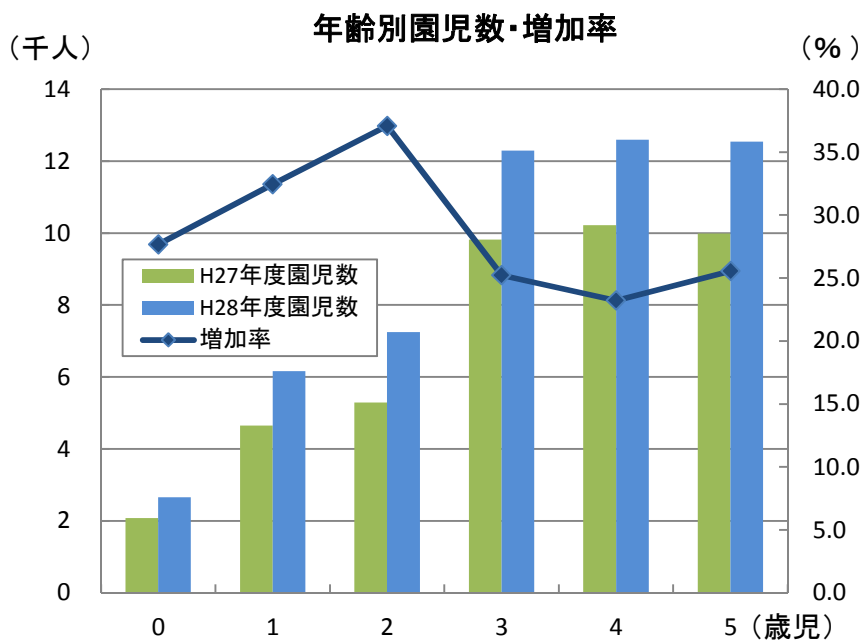
年度	園数	園児数	学級数	教育・保育職員 (本務者)
平成 28	331	53,496	1,580	8,133



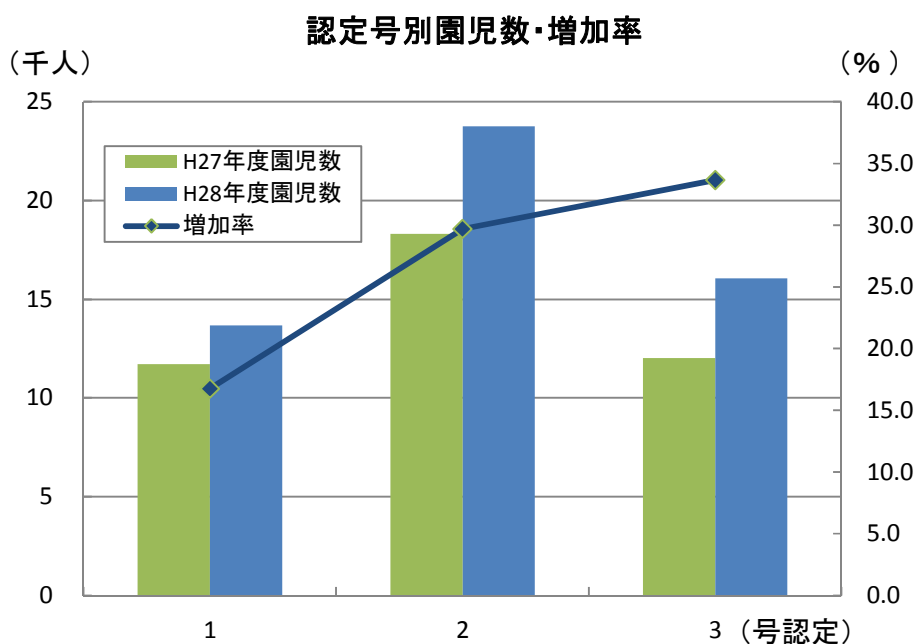
- 1号認定：満3歳以上の就学前の子ども（2号認定を除く）
 2号認定：満3歳以上の就学前の子どもで、保護者の労働や疾病等により保育を必要とする子ども
 3号認定：満3歳未満で保護者の労働や疾病等により保育を必要とする子ども

- ・年齢別では、4歳児が最も多く、次いで5歳児、3歳児となっている
- ・認定号数別では2号認定が最も多く、次いで3号認定となっており、保育が必要なものが全体の74.4%を占めている
- ・1学級当たりの在園者数（3から5歳児）は23.7人となっている
- ・教育・保育職員（本務者）1人当たりの在園者数（0から5歳児）は6.6人となっている

(3) 前年度との比較



・年齢別の増加率は、2歳児 37.1%が最も多く、次いで1歳児 32.4%、0歳児 27.7%の順となっている

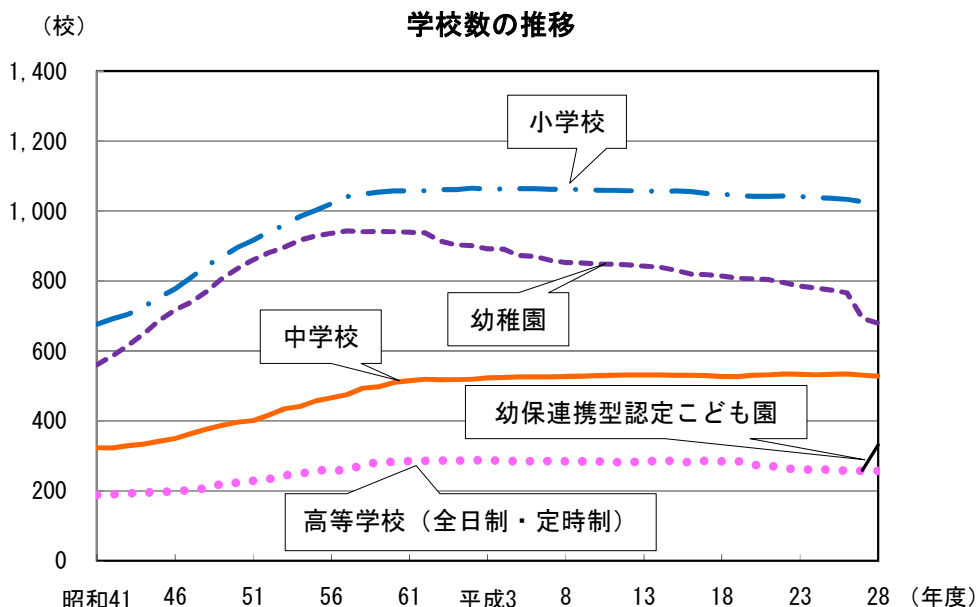


・認定号別の増加率は、3号認定 33.6%が最も多く、次いで2号認定 29.7%、1号認定 16.7%となっている

2 学校数の推移

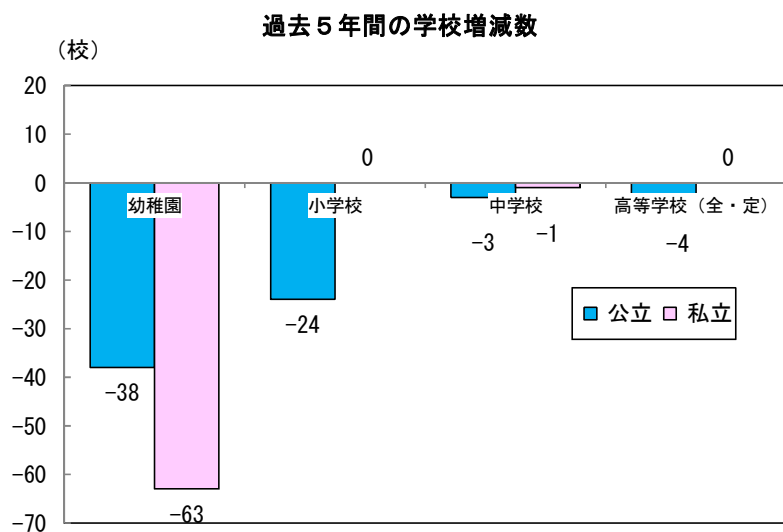
幼保連携型認定こども園への移行により幼稚園数が減少

(1) 学校数の推移



- ・幼稚園は679園で、前年度より14園減少（32年連続減少）
- ・幼保連携型認定こども園は331園で、前年度より72園増加
- ・小学校は1,015校で、前年度より12校減少（6年連続減少）
- ・中学校は528校で、前年度より3校減少（2年連続減少）
- ・高等学校（全日制・定時制）は257校で前年度と同数

(2) 公立・私立別、学校種別の学校増減数

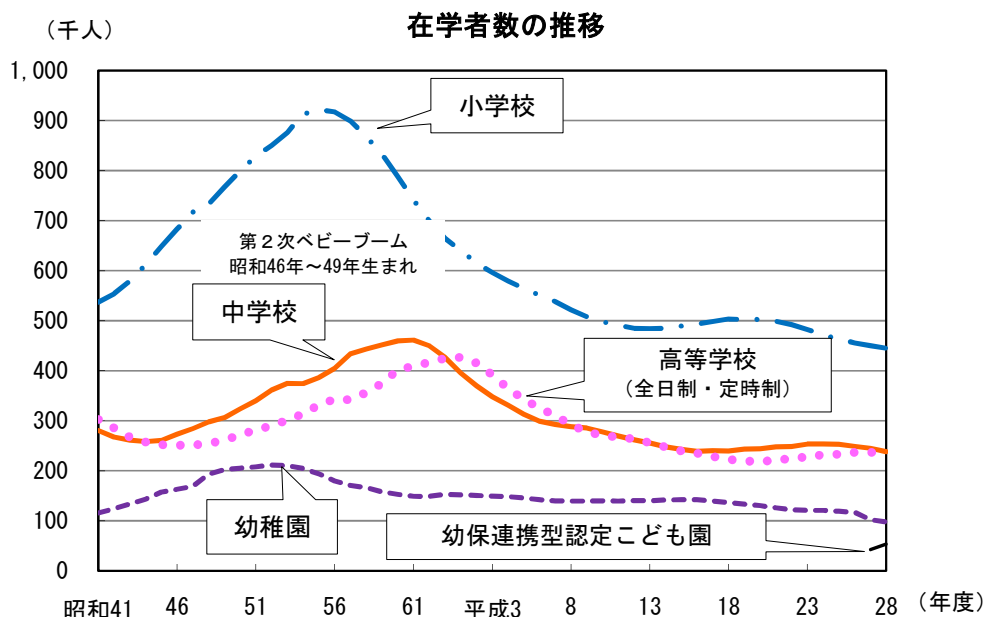


- ・公立は、幼稚園が38園、小学校が24校、中学校が3校、高等学校（全日制・定時制）が4校の減少
- ・私立は、幼稚園が63園、中学校が1校減少し、小学校、高等学校（全日制・定時制）は増減なし

3 在学者数の推移

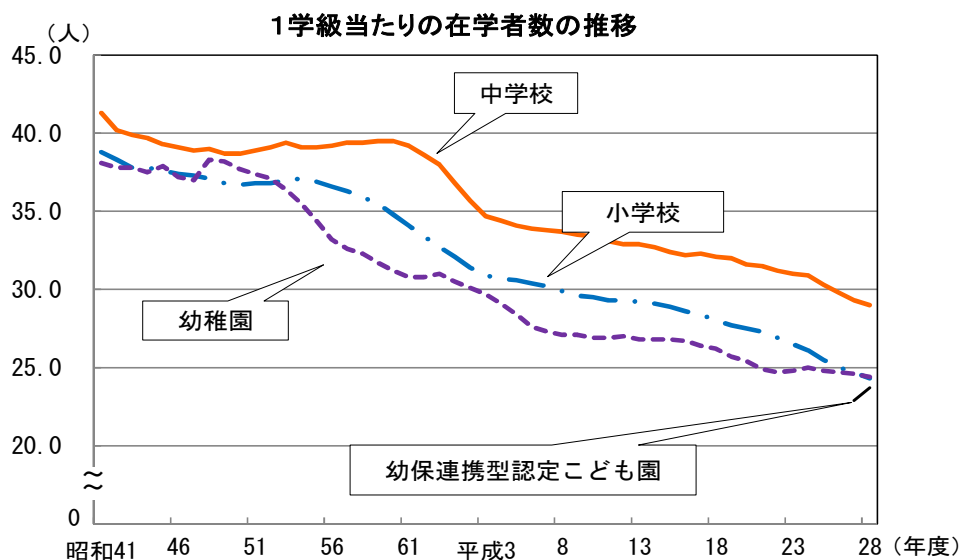
高等学校（全日制・定時制）は9年ぶりに減少

(1) 在学者数の推移



- ・ 幼稚園は 97,597 人で、前年度より 4,498 人減少（ピーク時 昭和 52 年度 211,460 人の 46.2%）
- ・ 幼保連携型認定こども園は 53,496 人で、前年度より 11,445 人増加
- ・ 小学校は 444,586 人で、前年度より 5,341 人減少（ピーク時 昭和 55 年度 921,519 人の 48.2%）
- ・ 中学校は 238,200 人で、前年度より 6,505 人減少（ピーク時 昭和 61 年度 460,931 人の 51.7%）
- ・ 高等学校（全日制・定時制）は 235,580 人で、前年度より 1,120 人減少
（ピーク時 平成元年度 426,706 人の 55.2%）

(2) 1学級当たりの在学者数の推移



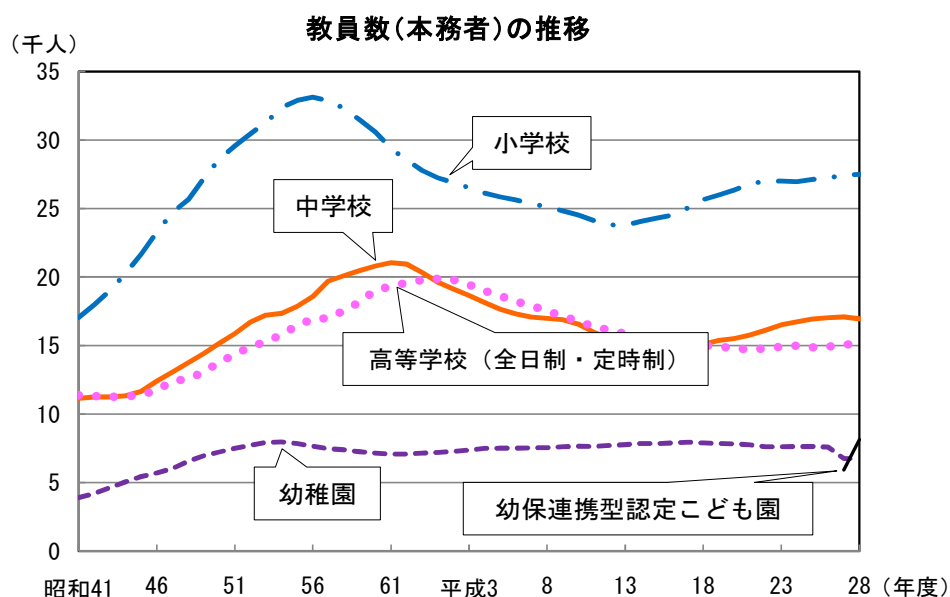
- ・ 幼稚園は 24.4 人で、前年度より 0.2 人減少（4年連続減少）
- ・ 幼保連携型認定こども園（3から5歳児）は 23.7 人で、前年度より 0.8 人増加
- ・ 小学校は 24.3 人で、前年度より 0.3 人減少（37年連続減少）（*）
- ・ 中学校は 29.0 人で、前年度より 0.3 人減少（11年連続減少）

（*）3 ページ「利用上の注意」を参照

4 教員数（本務者）の推移

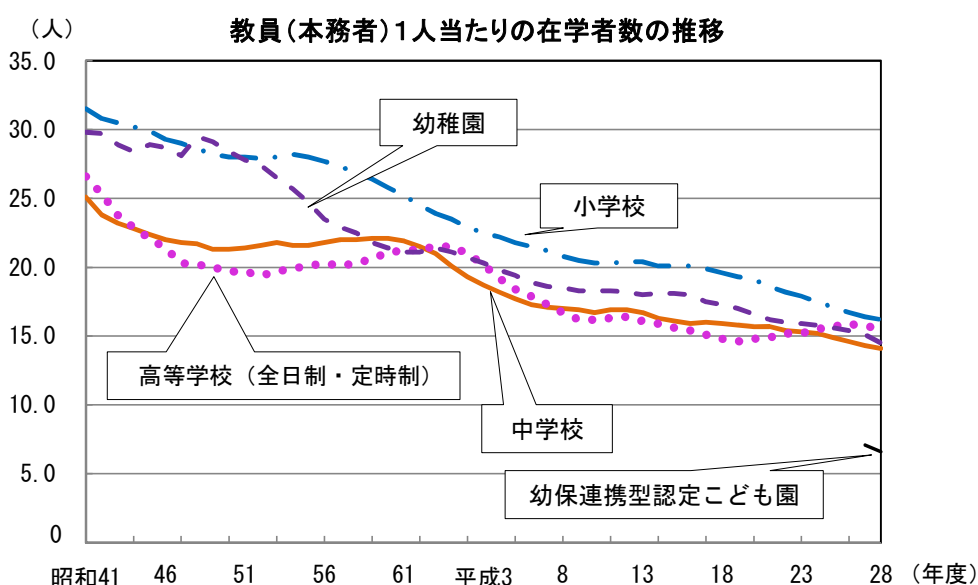
小学校・高等学校（全日制・定時制）は増加傾向

（1）教員数（本務者）の推移



- ・幼稚園は6,741人で、前年度より17人減少（4年連続減少）
- ・幼保連携型認定こども園は8,133人で、前年度より2,211人増加
- ・小学校は27,493人で、前年度より57人増加（4年連続増加）
- ・中学校は16,943人で、前年度より143人減少（11年ぶりに減少）
- ・高等学校（全日制・定時制）は15,117人で、前年度より49人増加（3年連続増加）

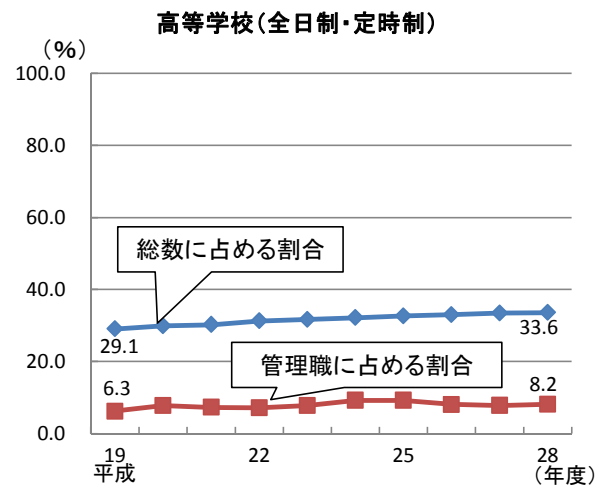
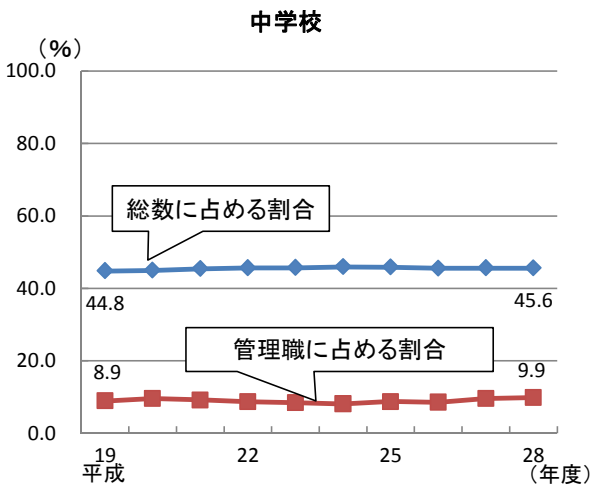
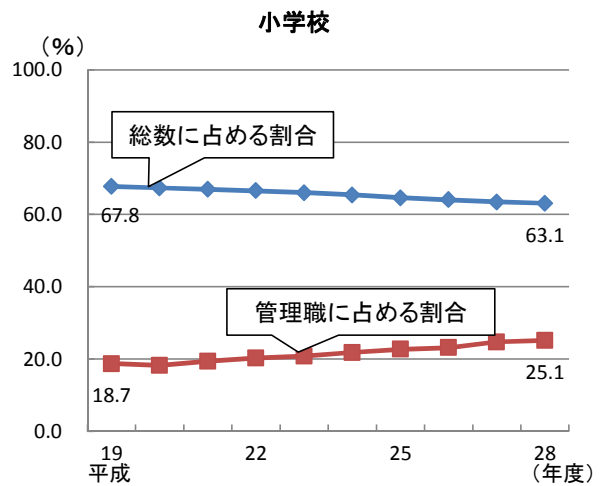
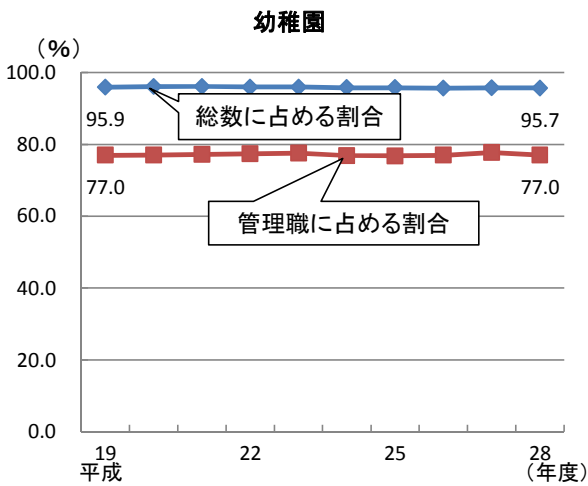
（2）教員（本務者）1人当たりの在学者数の推移



- ・幼稚園は14.5人で、前年度より0.6人減少（13年連続減少）
- ・幼保連携型認定こども園は6.6人で、前年度より0.5人減少
- ・小学校は16.2人で、前年度より0.2人減少（16年連続減少）
- ・中学校は14.1人で、前年度より0.3人減少（7年連続減少）（*）
- ・高等学校（全日制・定時制）は15.6人で、前年度より0.1人減少（2年連続減少）

（*）3 ページ「利用上の注意」を参照

(3) 女性教員（本務者）及び女性管理職（*1）の割合の推移

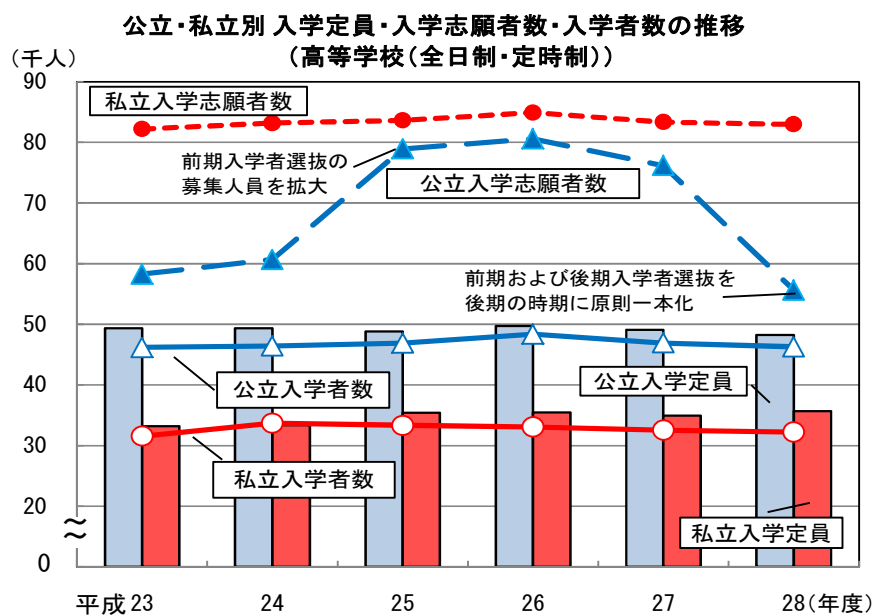


- ・幼稚園は、総数に占める割合、管理職に占める割合ともに10年でほぼ横ばい
- ・小学校は、総数に占める割合は10年で4.7ポイント低下、管理職に占める割合は10年で6.4ポイント上昇
- ・中学校は、総数に占める割合は10年で0.8ポイント上昇、管理職に占める割合は10年で0.9ポイント上昇(*2)
- ・高等学校（全日制・定時制）は、総数に占める割合は10年で4.5ポイント上昇、管理職に占める割合は10年で1.9ポイント上昇

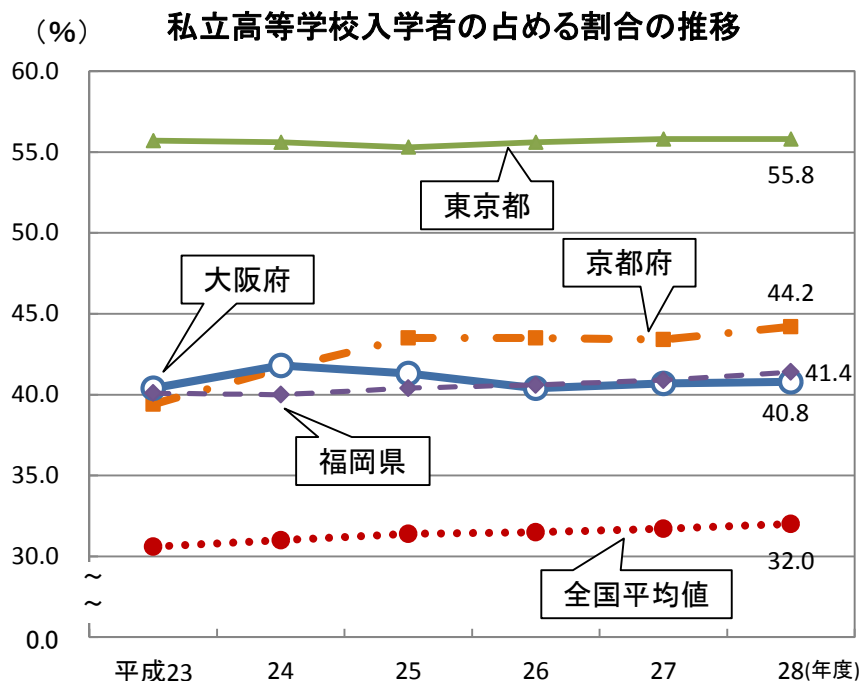
(*1) ・管理職とは、教員のうち校（園）長、副校（園）長、教頭のことを示す
 ・「総数に占める割合」 = 教員数（女性） / 教員数（男女計）で算出
 ・「管理職に占める割合」 = 管理職の数（女性） / 管理職の数（男女計）で算出
 (*2) 3 ページ「利用上の注意」を参照

5 公立・私立別入学状況の推移

(1) 入学定員・入学志願者数・入学者数の推移（高等学校（全日制・定時制））



(2) 入学者のうち私立への入学者の占める割合の推移（高等学校（全日制・定時制））



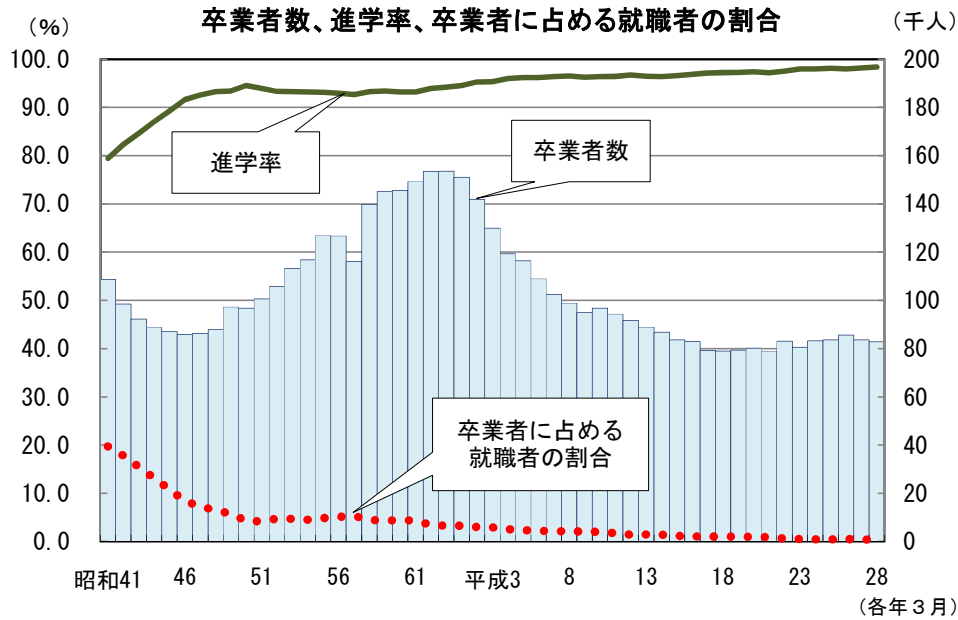
- ・大阪府は40.8%で、平成23年度以降6年連続40%を越えている
- ・大阪府は全国平均を8.8ポイント上回る
- ・都道府県別では東京都が最も高く、京都府、福岡県と続き、大阪府は4番目となっている

6 中学校の卒業後の状況

進学率は 98.3% で過去最高

卒業者に占める就職者の割合は 0.3% で過去最低

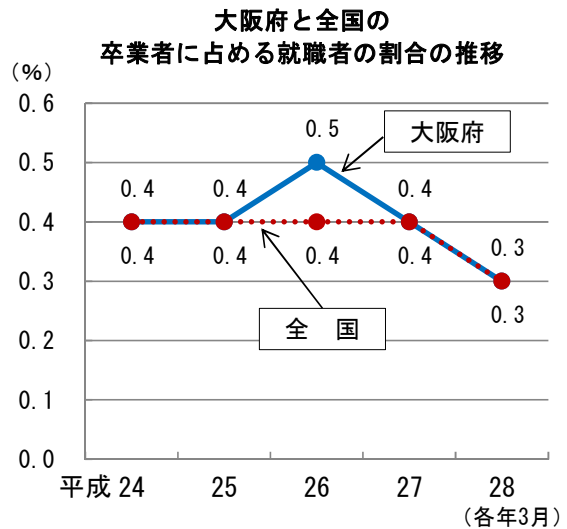
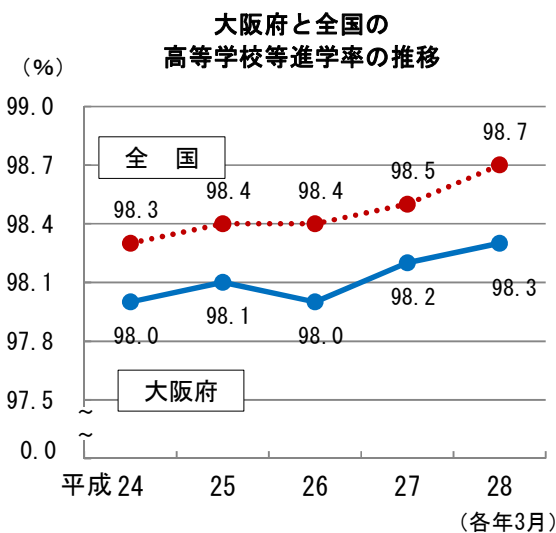
(1) 卒業生数、進学率、卒業者に占める就職者の割合の推移



- ・卒業生は 82,869 人で 2 年連続減少（ピーク時 昭和 63 年度 153,542 人の 54.0%）
- ・進学率は 98.3% で前年より 0.2 ポイント上昇（過去最高）（*）
- ・卒業者に占める就職者の割合は 0.3%（過去最低）

(*）3 ページ「利用上の注意」を参照

(2) 全国平均との比較

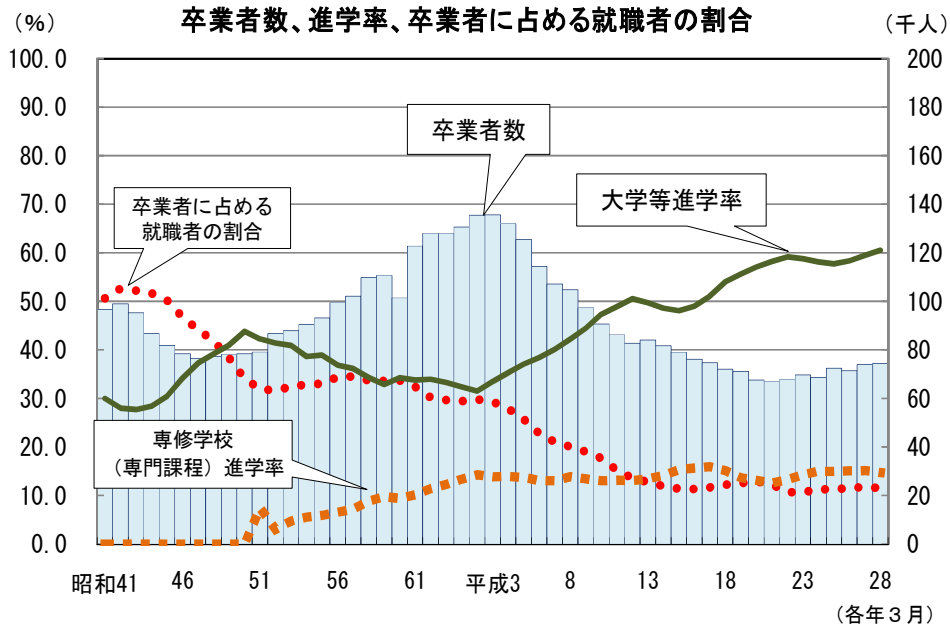


- ・進学率は、全国平均の 98.7% より 0.4 ポイント低く、全国で 38 番目
- ・卒業者に占める就職者の割合は、全国平均の 0.3% と同程度で、全国で 20 番目

7 高等学校（全日制・定時制）の卒業後の状況

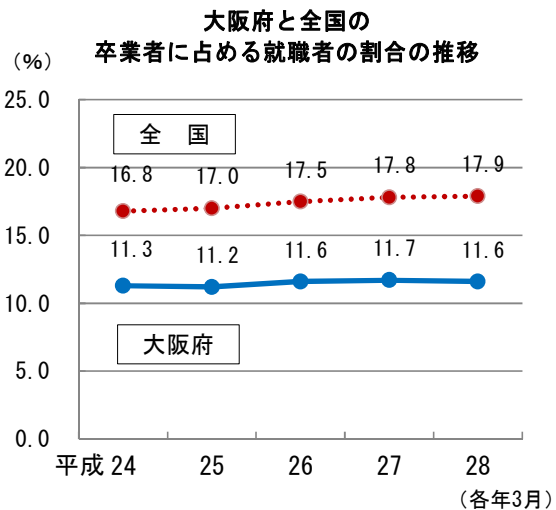
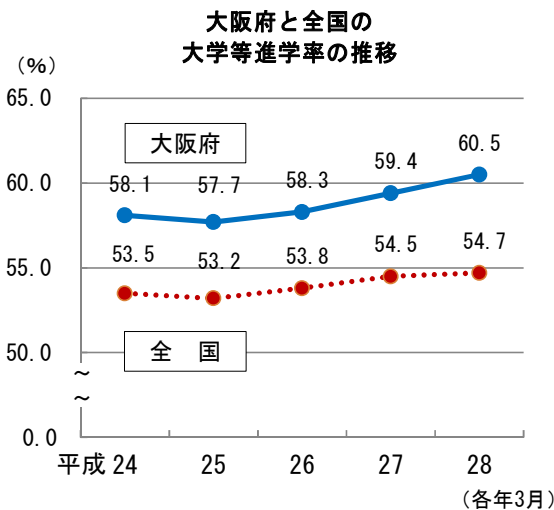
大学等への進学率は60.5%で過去最高

(1) 卒業生数、進学率、卒業生に占める就職者の割合の推移

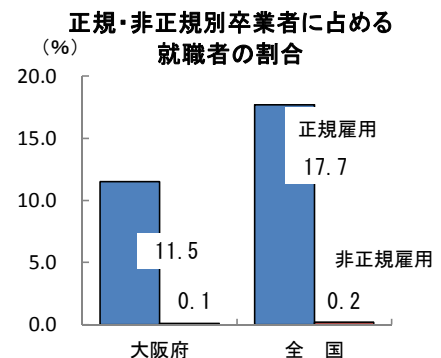


- ・卒業生は74,413人で2年連続増加（ピーク時 平成3年度 135,563人の54.9%）
- ・大学等への進学率は60.5%で前年より1.1ポイント上昇（過去最高）
- ・専修学校（専門課程）への進学率は14.7%で前年より0.4ポイント低下
- ・卒業生に占める就職者の割合は11.6%で、前年より0.1ポイント低下

(2) 全国平均との比較



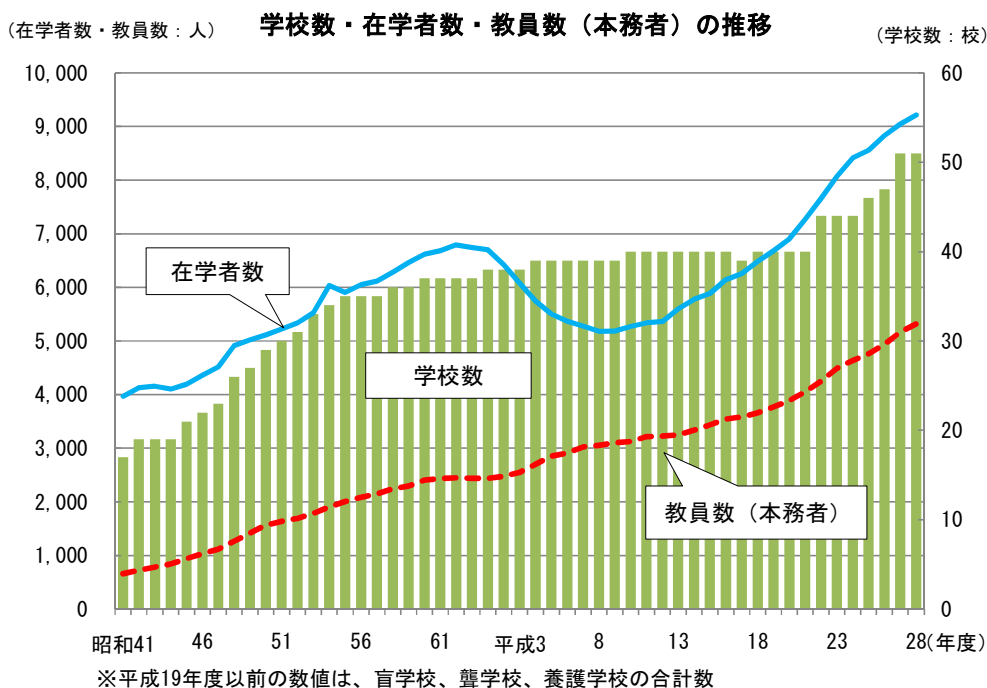
- ・大学等への進学率は、全国平均の54.7%より5.8ポイント高く、全国で5番目
 - ・卒業生に占める就職者の割合は、全国平均の17.9%より6.3ポイント低く、全国で44番目
 - ・卒業生に占める就職者の割合のうち
正規雇用の割合は11.5%、非正規雇用は0.1%となり、
正規雇用は全国平均の17.7%より、6.3ポイント低い(*)
- (*)3 ページ「利用上の注意」を参照



8 特別支援学校

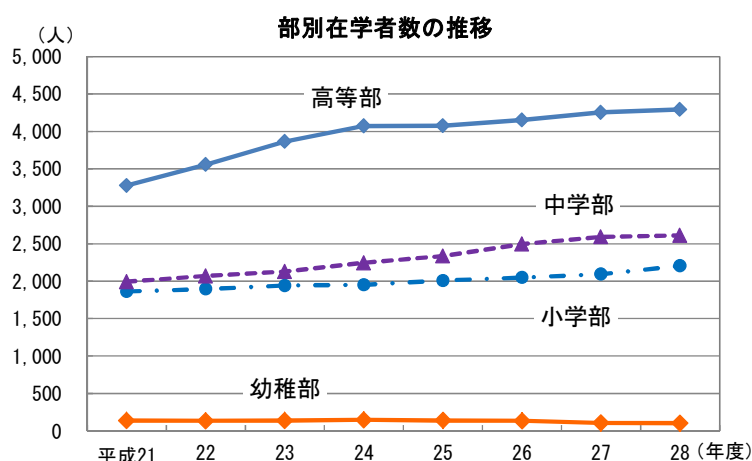
学校数、在学者数、教員数（本務者）ともに過去最高

(1) 学校数・在学者数・教員数（本務者）の推移



- ・学校数は51校で前年度と同数
- ・在学者数は9,215人で前年度より168人増加（20年連続増加）
- ・教員（本務者）は、5,321人で152人増加（27年連続増加）

(2) 部別在学者数の推移

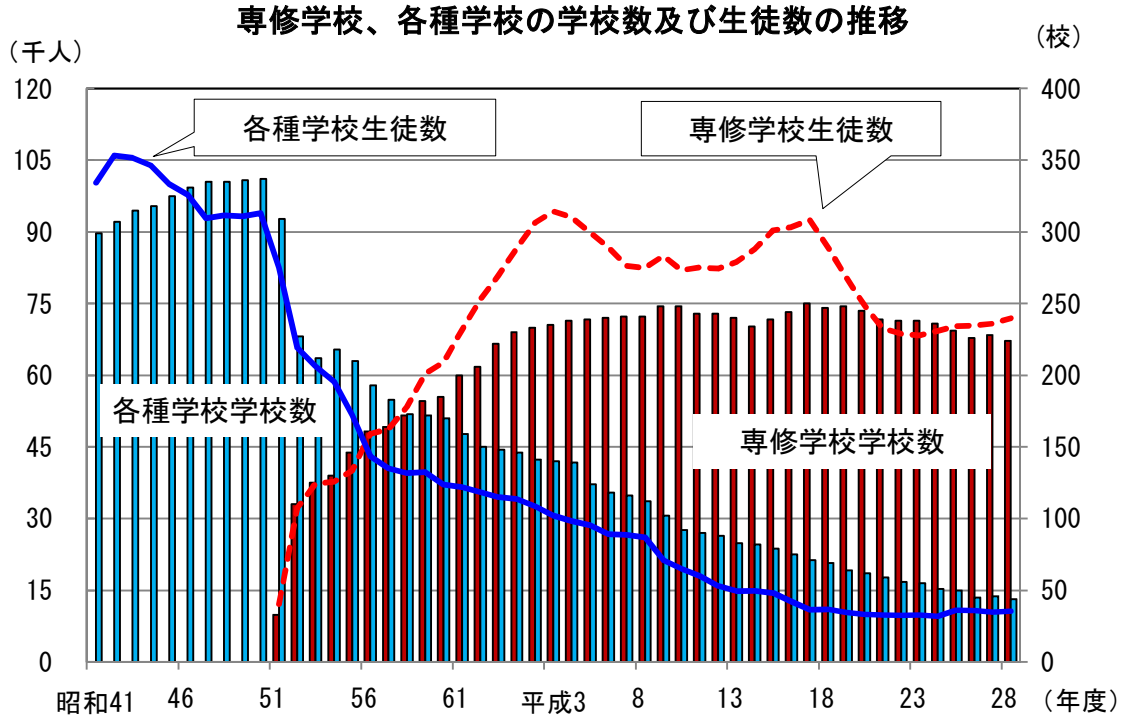


- ・幼稚部の在学者数は、102人で前年度より3人減少
- ・小学部の在学者数は、2,206人で前年度より112人増加
- ・中学部の在学者数は、2,612人で前年度より19人増加
- ・高等部の在学者数は、4,295人で前年度より40人増加

9 専修学校・各種学校

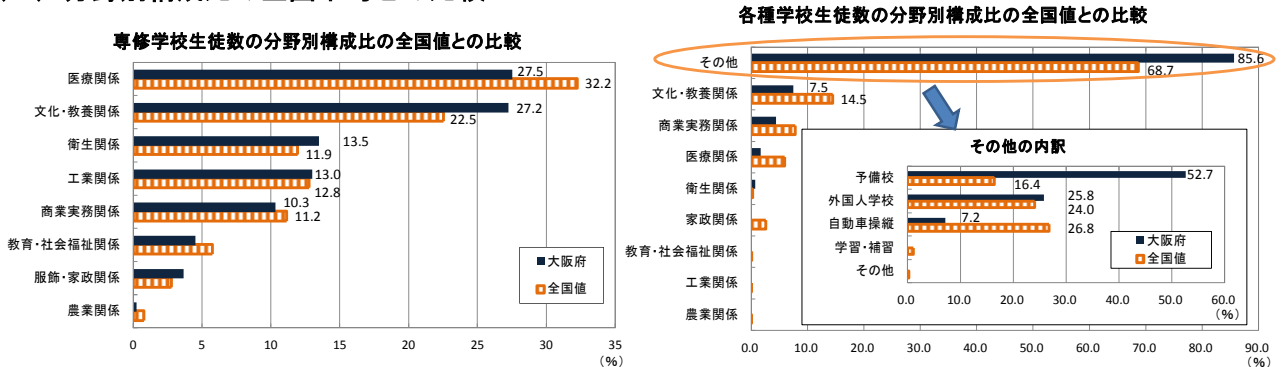
各種学校の学校数は昭和 51 年度から減少傾向
 専修学校の生徒数は 5 年連続増加

(1) 学校数及び生徒数の推移



- ・専修学校の学校数は 224 校で、前年度より 4 校減少
- ・専修学校の生徒数は 71,912 人で、前年度より 1,133 人増加 (5 年連続増加)
- ・各種学校の学校数は 44 校で、前年度より 2 校減少 (昭和 51 年度から減少傾向)
- ・各種学校の生徒数は 10,641 人で、前年度より 240 人増加 (3 年ぶりに増加)

(2) 分野別構成比の全国平均との比較



- ・専修学校生徒数の分野別構成比は、「医療関係」が全国平均を 4.7 ポイント下回っており、「文化・教養関係」では 4.7 ポイント上回っている
- ・各種学校生徒数では、「予備校」が全国平均を 36.2 ポイント上回っており(*)、「外国人学校」では 1.8 ポイント上回っている

(*)3 ページ「利用上の注意」を参照